

公開買付けに関するご説明資料
~ GISエンタープライズ市場の開拓を目的とした
「IPエンタープライジング™事業」の開始 ~



2005年7月15日

株式会社インターネット総合研究所

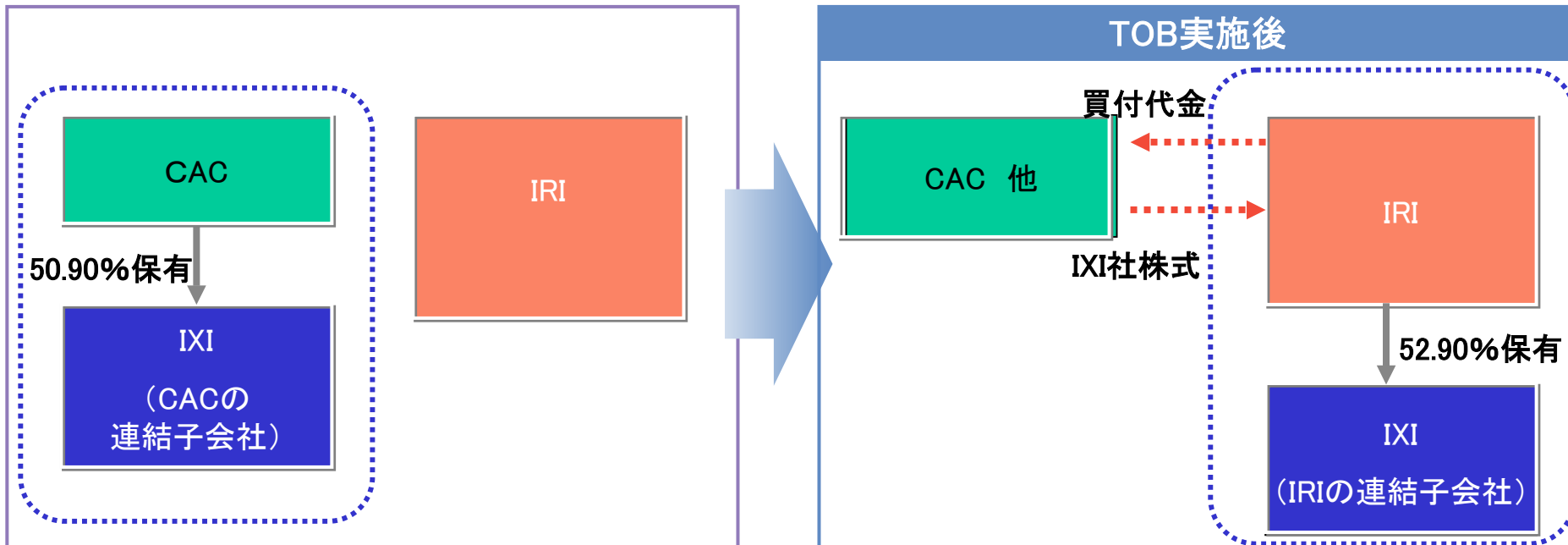
目 次

1. 公開買付け(TOB)の概要
2. TOBの目的
3. アイ・エックス・アイの概要
4. IRIグループの概要

1. 公開買付け(TOB)の概要

1-1. 公開買付けの概要

- IRIは、(株)アイ・エックス・アイ(以下IXI)株式の50.90%を保有する(株)シーエーシー(以下CAC)他から公開買付けにより株式を取得し、IXIを連結子会社とする
- 決議日:7月15日
- 公告日:7月19日
- 買付価格:1株あたり330,000円
- 公開買付期間:平成17年7月19日から平成17年8月8日(予定)
- 結果公表日:8月9日(予定)
- 決済の開始日:8月15日(予定)



2. TOBの目的

「技術革新の本質 = IP : Internet Protocol」

学術研究IPのフェーズ（80年代～）

商用IPネット登場のフェーズ（90年代前半）

ダイヤルアップ・アクセス、Webページの登場

キャリア網のIP化フェーズ（90年代後半～）

高速・アクセス + 携帯電話の普及

ユースターネットのIP化フェーズ（200X～）

ブロードバンド + Eメールの普及

：GISインタープライズ / 通信放送サービスの技術基盤の確立

2-2. IRIの経営戦略～IP社会の進展とともに発展

IP技術の時代背景

インターネットの位置づけ

創業時：インターネット草創期

インターネットって何だろう？

現在：ブロードバンド普及期
通信サービス事業者の
IPネットワークインフラ整備需要

楽しい、面白い、便利！

将来：ブロードバンド活用期
ブロードバンドが浸透し
IPネットワークはインフラ整備段階から
具体的に活用される時代へ

+

時代のニーズ
ユビキタス社会、健康な社会
安全な社会

無くては困る！社会インフラへ

IRIの経営戦略

理念：あらゆる情報、文化、社会活動を
IPネットワーク上に実現していく

【事業規模＝10億円～】

常に先の時代を見据えIP技術によって進化する
ネットワーク事業分野を創出してきた
既存事業戦略

ネットワークインフラレイヤーを核としたIRIグループの構築
(BBTower、IRI-Com、IRIユビテック、IRI-CT、PoD)

【事業規模＝100億円～】

多くの分散拠点を持つエンタープライズ顧客の
企業価値向上を支援する

GIS※エンタープライズ市場の開拓

特に重点分野として以下にフォーカス

①デジタルネットワーク家電分野

②IT医療分野 ③ホームランドセキュリティ分野

【事業規模＝1000億円～】

※GIS: Geographic Information System (地理情報システム)

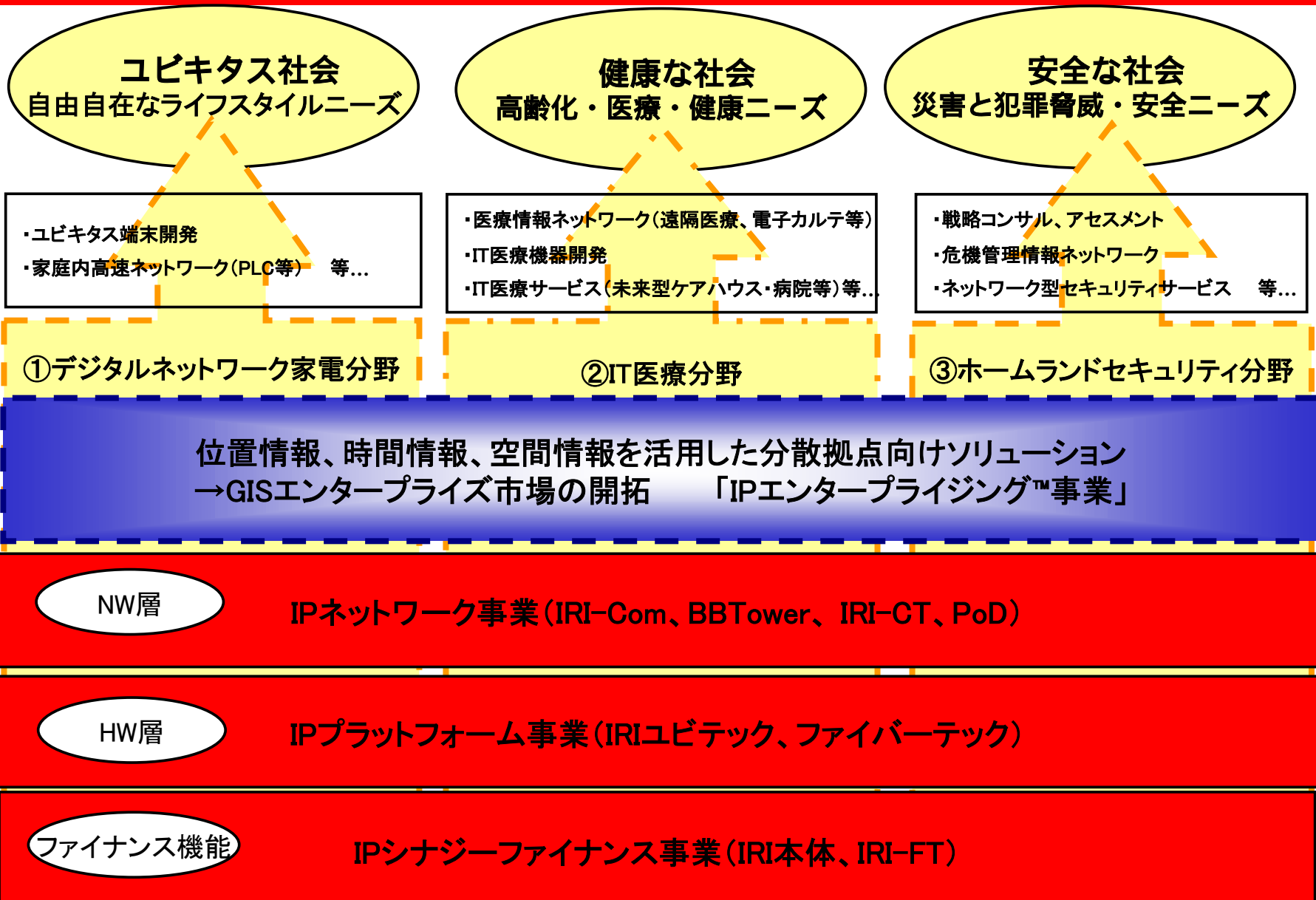
2-3. IRIグループの強化課題

社会ニーズ

展開(例)

開拓分野

グループ既存事業



2-4.IPエンタープライジング事業とは？

1 . IRIは、従来のIPネットワーク、IPプラットフォーム事業に加えて新たにIPエンタープライジング™事業を行う。主として、今回TOBによりIRIグループとなるIXIが同事業の推進主体となり、IRI内に新設する「IPエンタープライジング™事業推進室」が事業推進を行う。

2 . IPエンタープライジング™事業のミッション：IP(Internet Protocol)技術を用いて通信分野、コンテンツ分野に続いて、今後インターネットの利用が急速に進むGISエンタープライズ分野での新たな活用ビジネスを創造していく。オープンシステムを既に導入済みの顧客に対してIPネットワークソリューション+IPネットワークサービスを提供する。具体的には**多くの分散拠点を持つエンタープライズ顧客の企業価値向上を支援する「GISエンタープライズ市場」の開拓**を行う。

※GIS: Geographic Information System(地理情報システム)

3 . IPエンタープライジング™事業推進室のミッション

- (1) IXIの顧客に対してIPネットワーク事業とIPプラットフォーム事業の要素技術を組み合わせたエンタープライズ・ソリューションを企画・販売する。
- (2) IRIの顧客 (IPネットワーク事業とIPプラットフォーム事業) に対してIXIによるGISエンタープライズ・ソリューションを企画・販売する。

Enterprise(名詞)

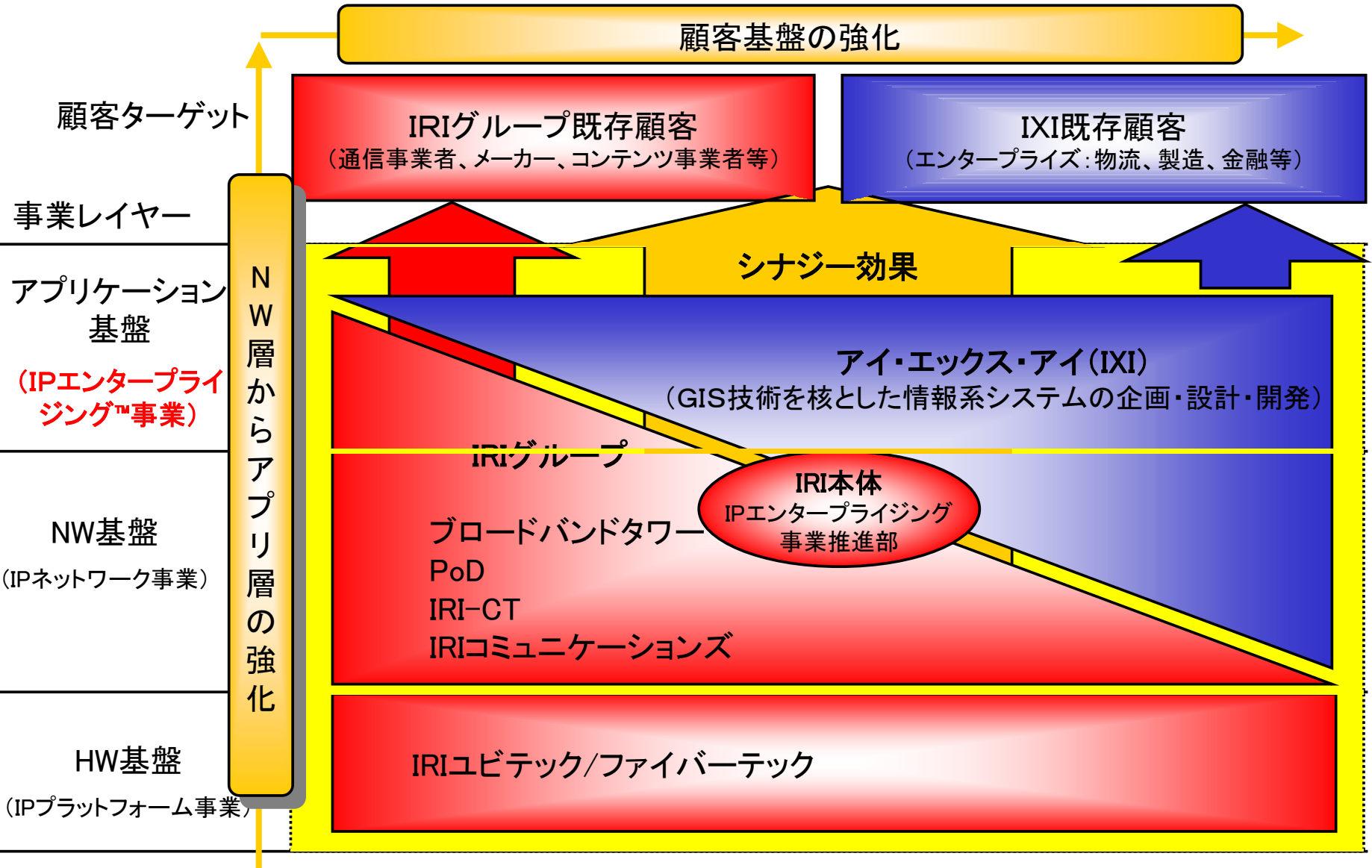
- 1 (大胆なこと・困難なことをする)企て;(冒険的な)事業.
- 2 a [通例修飾語を伴って]企業,企業体系. b 企業体,会社.
- 3 企業心,冒険心,積極性.

Enterprising(形容詞)

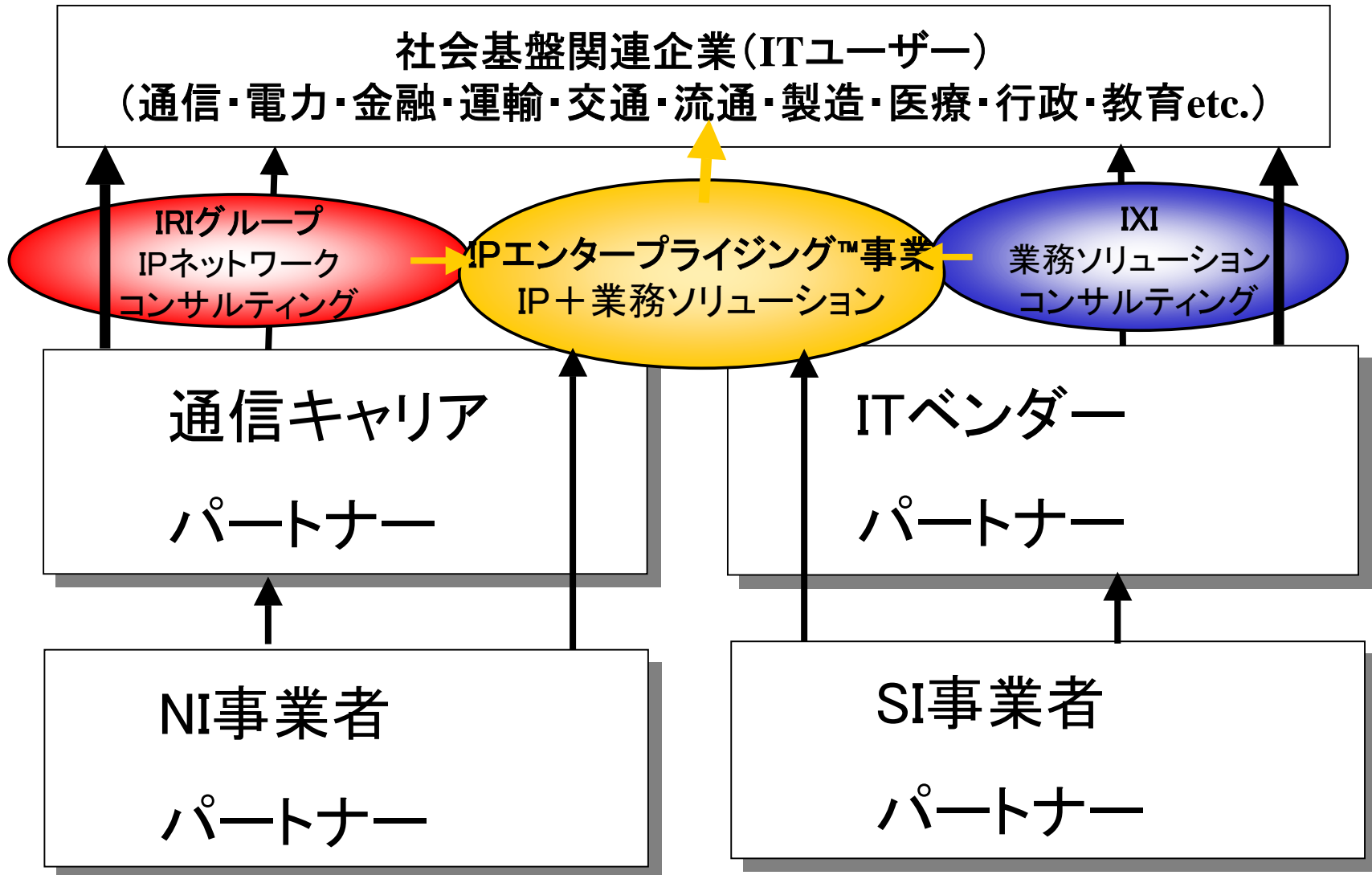
- 1a 人が 企業心[進取の気性]に富んだ,積極的な,意欲的な;冒険好きな.
- b +of+(代)名(+to do) ...するとは [人は]進取の気性に富んで,冒険好きで.
- 2 行動など 進取的な,自主的な;冒険的な.

出展：新英和中辞典 第6版（研究社）

2-5.TOBの目的①GISエンタープライズ市場の開拓



「GISエンタープライズ市場」の開拓



2-7. IPエンタープライズ事業 ~GISエンタープライズ市場の開拓~

IPエンタープライズ™事業

多くの分散拠点を持つエンタープライズ顧客の企業価値向上を支援する「GISエンタープライズ市場」の開拓

Ubilabs

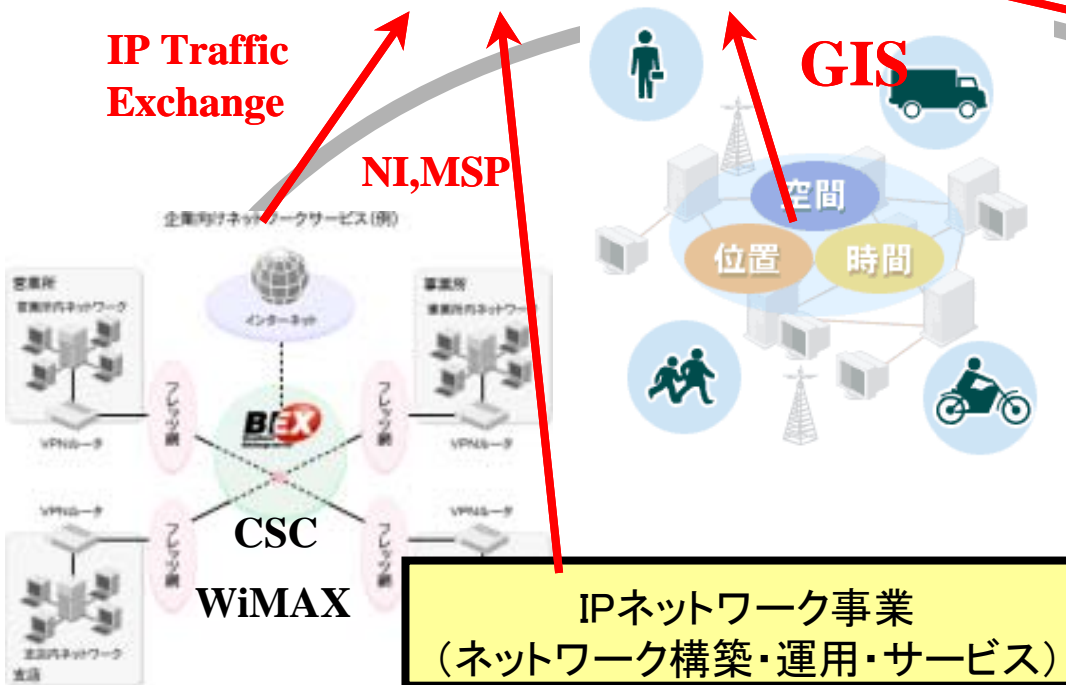
IPプラットフォーム事業
(ユビキタステクノロジー)

すべてがネットワークで繋がるユビキタス社会

IP Traffic Exchange

NI, MSP

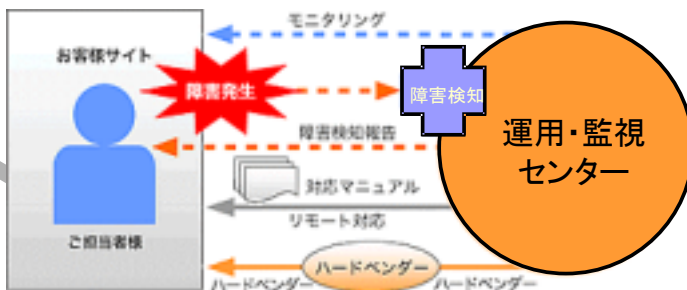
GIS



IPネットワーク事業
(ネットワーク構築・運用・サービス)

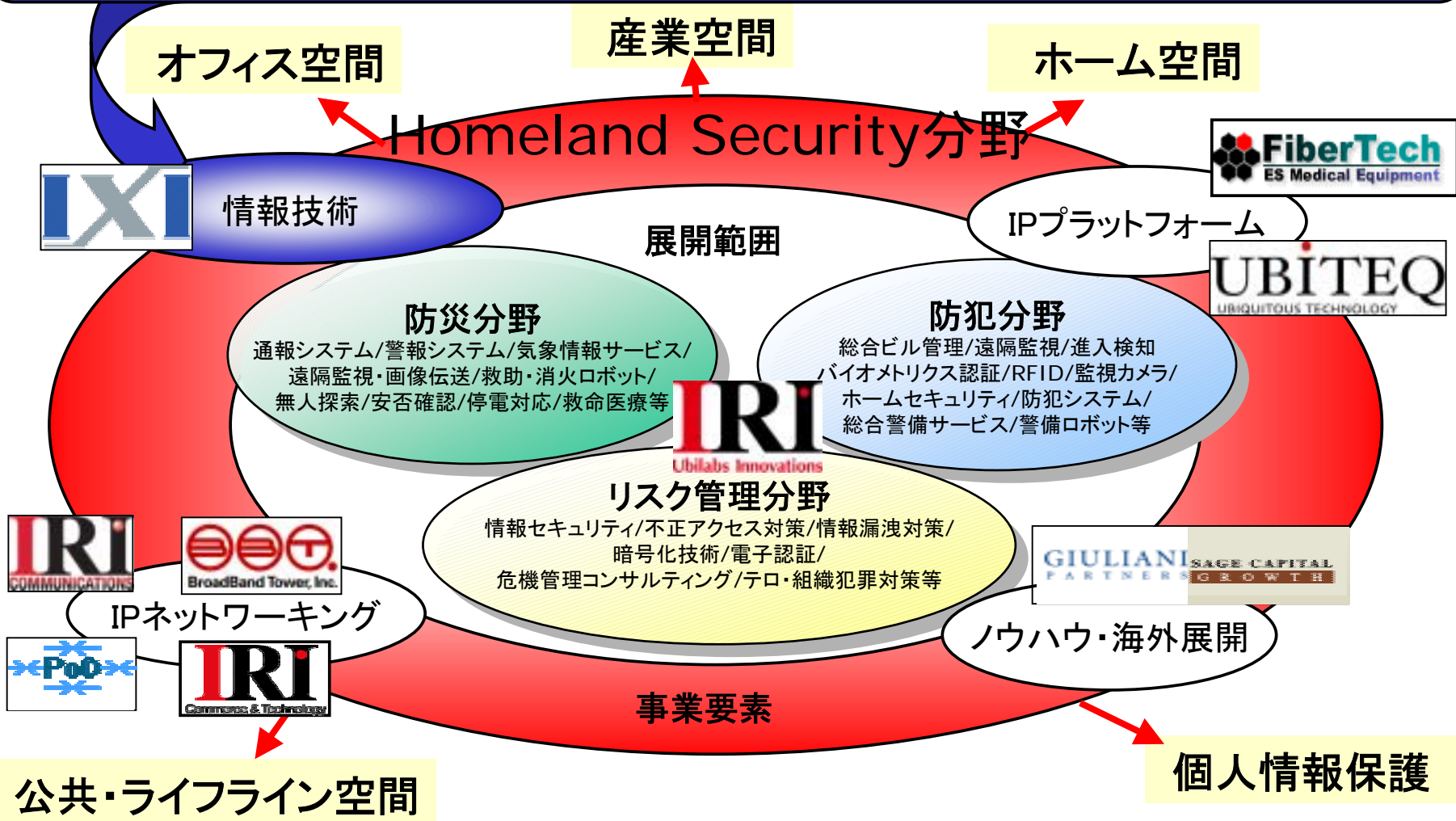


ユビキタス社会を支える
ユビキタスプラットフォームの実現



2-8. TOBの目的②ホームランドセキュリティ分野の強化

IXIの持つGIS技術はホームランドセキュリティ分野に必要な情報
(位置情報、時間情報、空間情報)活用のキーテクノロジーとなる



2-9.連結グループ構成:TOB完了後

グループ企業価値の最大化

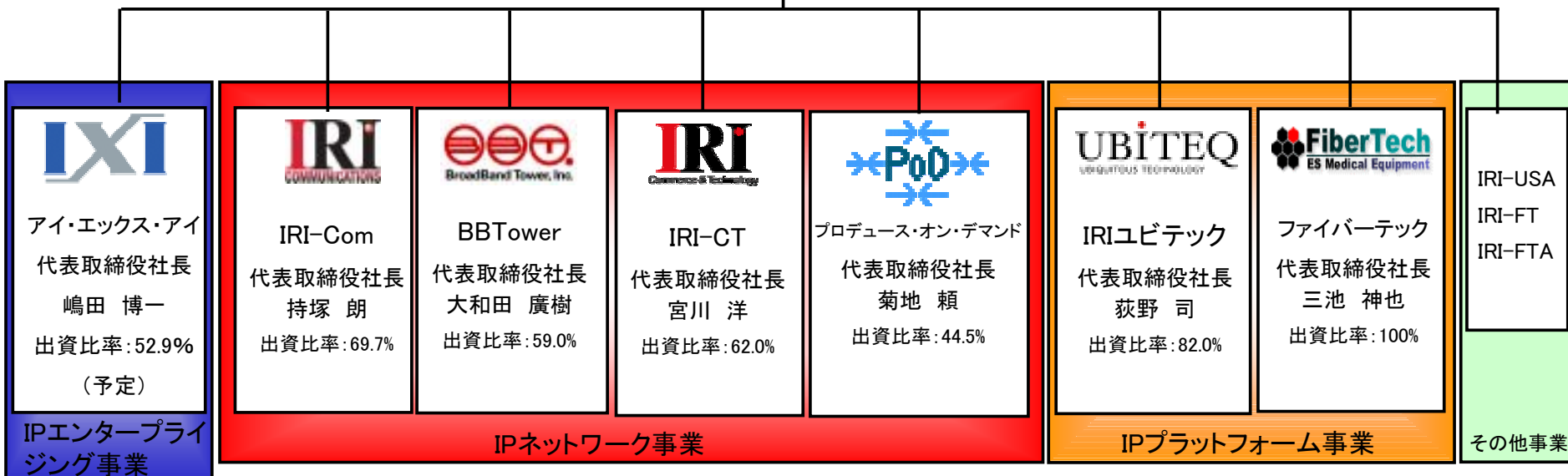
代表取締役社長
藤原 洋

- 本社機能
- <財務機能>
 - <グループ・ガバナンス機能>
 - <横断的な成長戦略の策定機能>
 - <IPエンタープライジング™事業推進機能>
 - <M&Aを積極活用した新事業の創出>

グループ会社の役割を明確化した『連邦的独立経営』によりグループ企業価値の増大を目指す

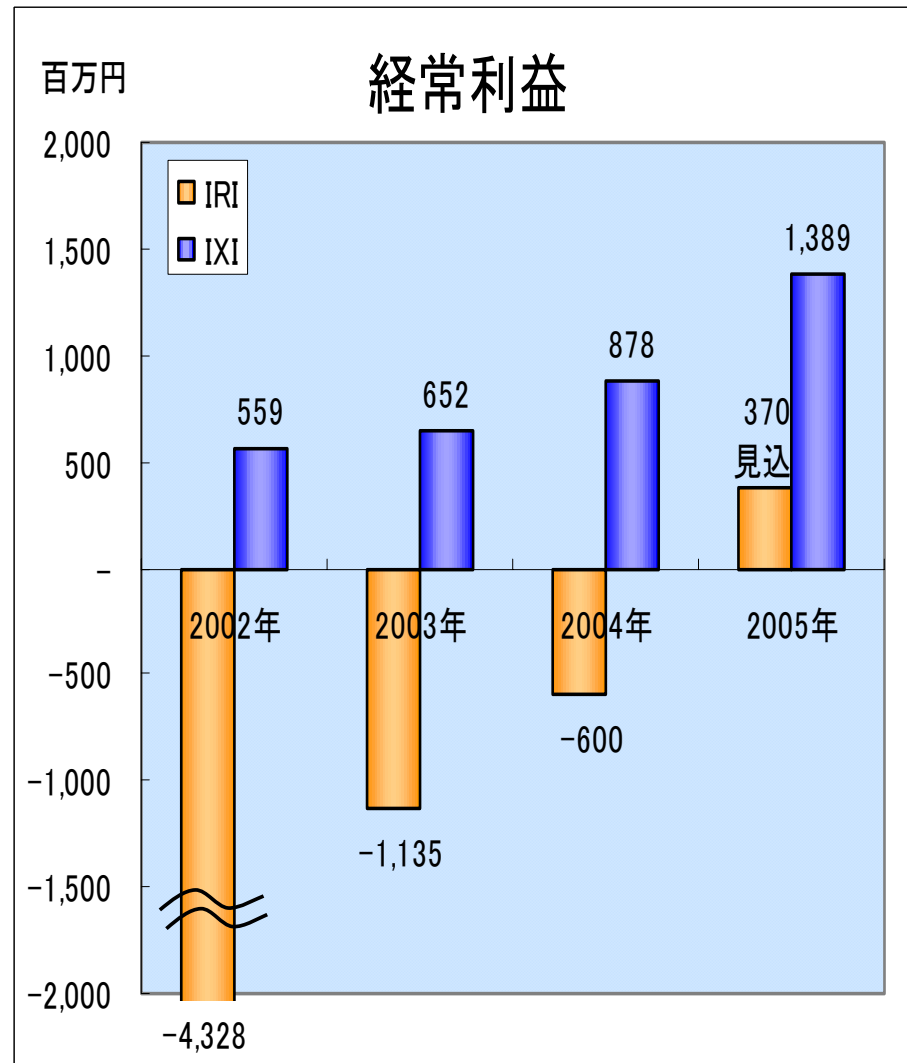
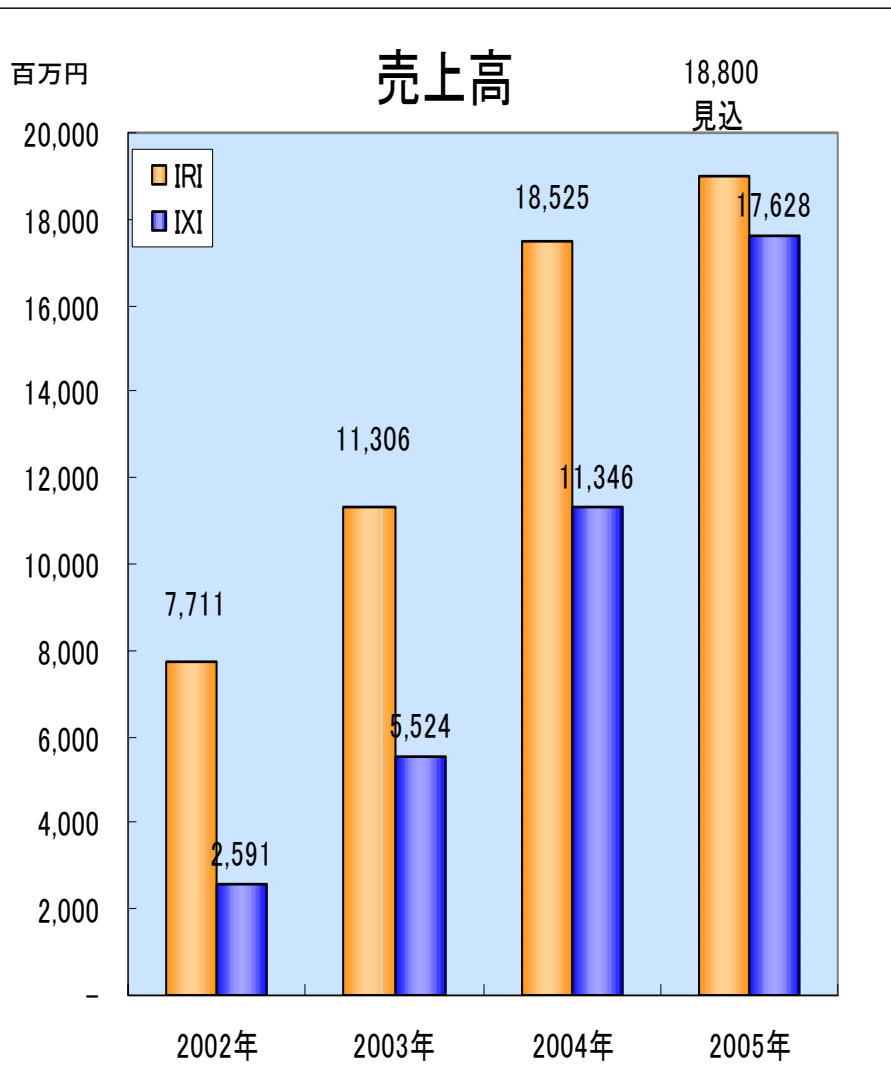
出資比率:6月末現在

連結子会社群



各グループ子会社は自己資金調達力を強化
 事業環境に即した効果的経営と迅速な意志決定を推進し事業強化を図る

2-10.業績成長の軌跡



注：業績数値グラフにつきましては過去の各年度（IXIが3月決算、IRIが6月決算）の実績数値（IRIの2005年6月期数値のみ見込数値）を並べた推移グラフになります。

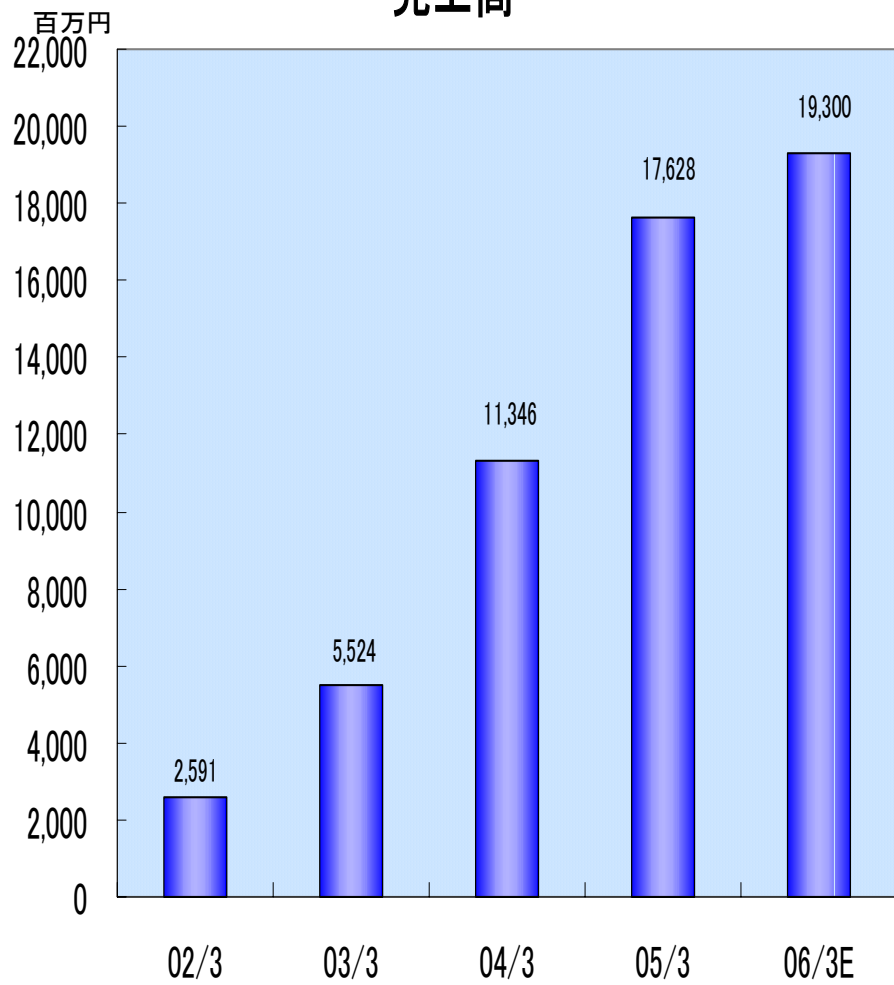
3. アイ・エックス・アイの概要

3-1.会社概要:アイ・エックス・アイ

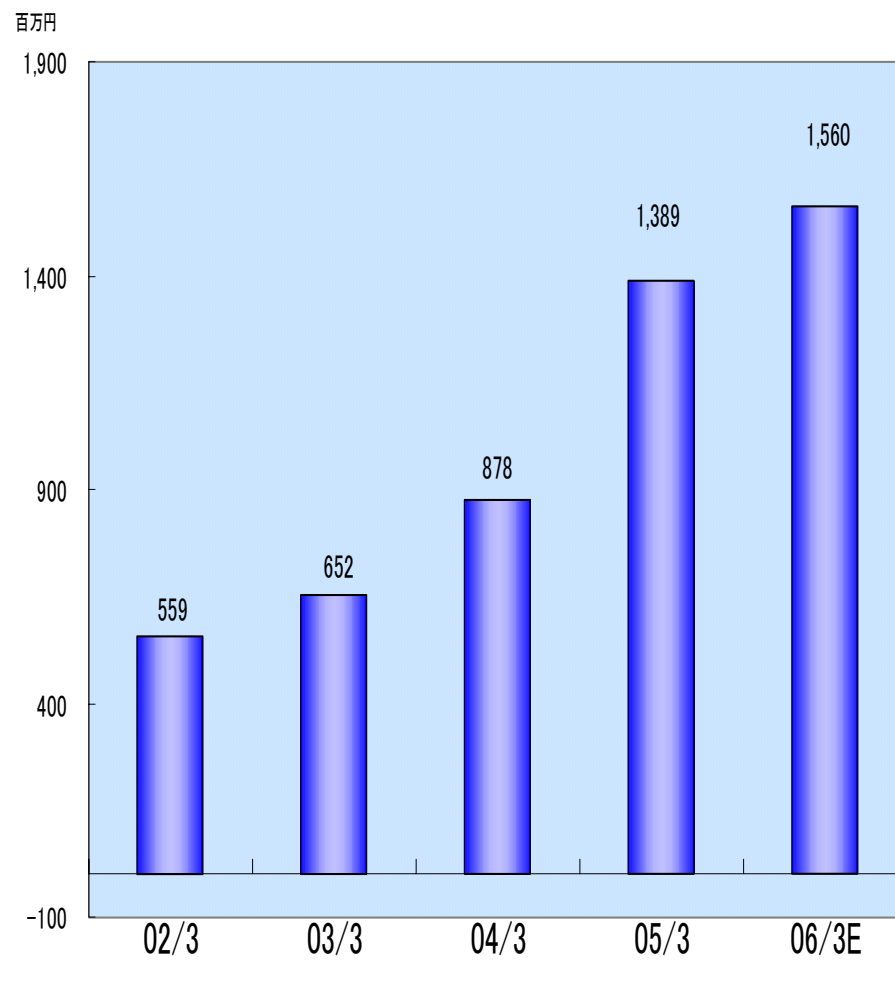
- 商号 株式会社アイ・エックス・アイ(IXI Co., Ltd)
- 設立 平成元年7月15日
- 上場取引所 東証2部, 大証ヘラクレスG
- 売上高 17, 628百万円<平成17年3月期>
- 経常利益 1, 389百万円<平成17年3月期>
- 当期利益 770百万円<平成17年3月期>
- 資本金 1, 602, 517千円<平成17年4月1日現在>
- 従業員数 86名<平成17年4月1日現在>
- 事業内容
 - ①各種情報システムの導入に関するコンサルタント業務
 - ②コンピュータソフトウェアの運用ならびに改善に関するコンサルタント業務
 - ③コンピュータソフトウェアの開発および販売
 - ④コンピュータ機器の販売、設置工事業
 - ⑤グラフィックデザインの企画および製作
 - ⑥航空運送事業
- 代表取締役社長 嶋田 博一
- 所在地 本社 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6丁目1番1号
新大阪プライムタワー
東京支社 〒105-0012 東京都港区芝大門2丁目1番16号 芝大門MFビル
- ウェブサイト <http://www.ixi.co.jp/>
- 連結子会社
 - Xebex America, Inc. (Washington D.C.)
 - ブルービーグル株式会社
 - BlueBEAGLE, Inc. (NY)
 - 株式会社グローバルウイングス17

3-2.連結業績概要:アイ・エックス・アイ(連結)

売上高



経常利益



GISネットワークング、セキュリティ、コンテンツを三本柱にソリューションを提供

NETWORKING SOLUTIONS

ネットワーク・ソリューション

- 4thEye®
- 時隈くん™

SECURITY

セキュリティ

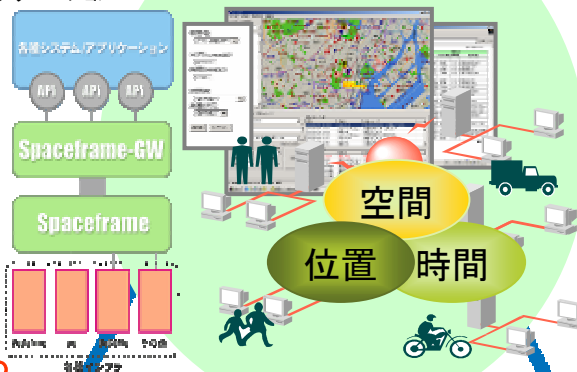


▲ 情報漏洩防止
著作権保護

▲ 情報漏洩防止

■ 登録商標・商標

・Spaceframe、WebSmileは株式会社アイ・エックス・アイの登録商標です。
 ・eSMS、SMS-MAP、KANONIは、株式会社アイ・エックス・アイの商標です。
 ・4thEyeはサイエンスパーク株式会社の登録商標です。
 ・時隈くんは株式会社エヌ・エス・イーの商標です。
 ・その他、記載されている商品名、会社名などの固有な名詞は各社の商標または登録商標です。



- Spaceframe®
- eSMS™
- SMS-MAP™
- WebSmile®/Shop
- バリアフリー支援システム
- SCM計画業務支援システム

- KANON™
- Webデザイン
- 3DCG制作
- ゲームソフト開発
- マーケティングリサーチ

CONTENTS

コンテンツ



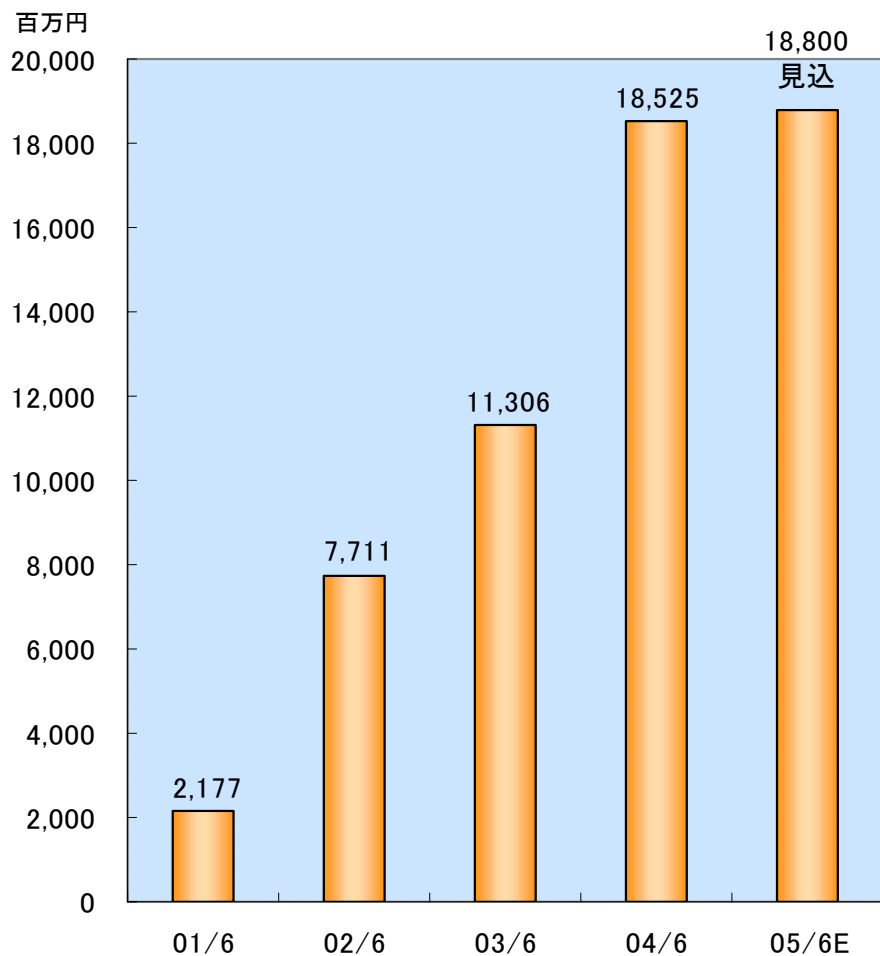
4. IRIグループの概要

4-1.会社概要:インターネット総合研究所

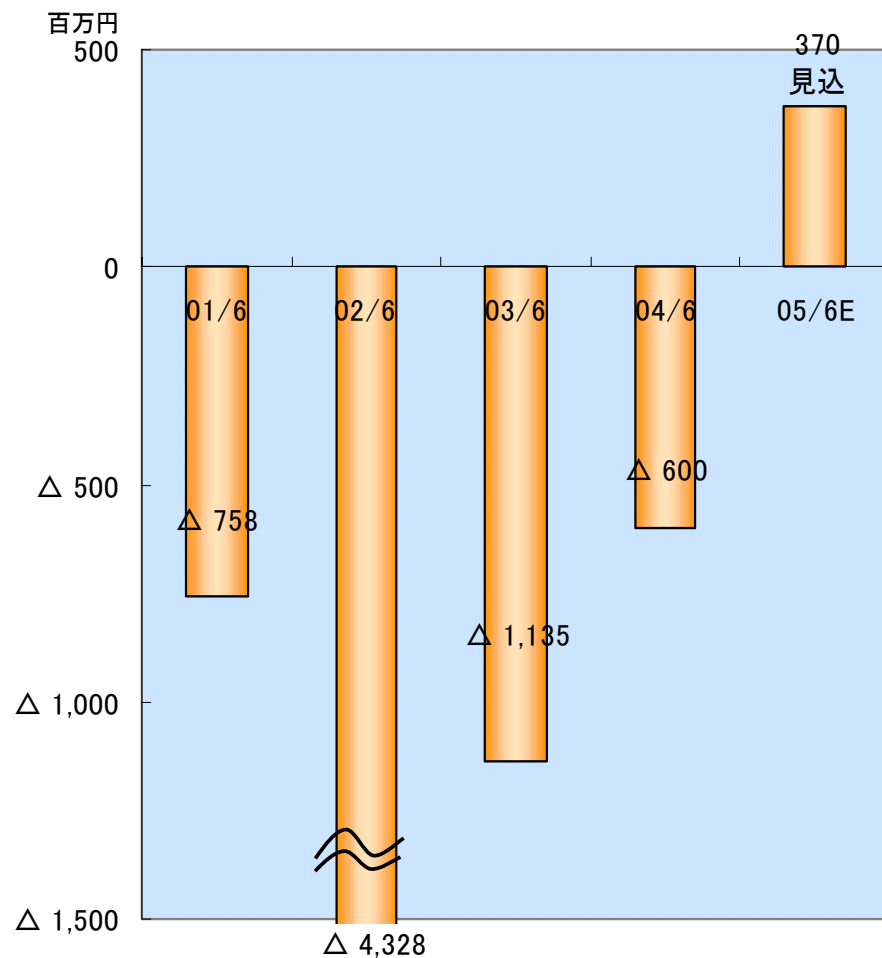
- 商号 株式会社インターネット総合研究所 (Internet Research Institute, Inc.)
- 設立 平成8年12月9日
- 上場取引所 東証マザーズ
- 売上高 18,800百万円<平成17年6月期見込>
- 経常利益 370百万円<平成17年6月期見込>
- 当期利益 160百万円<平成16年6月期見込>
- 資本金 3,920,000千円<平成17年6月末日現在>
- 従業員数 38名<平成17年5月末日現在>
- 事業内容 ①IPネットワークのコンサル・設計・構築・運用事業
②IPプラットフォームの設計開発・生産・販売事業
- 代表取締役所長 藤原 洋
- 所在地 本社 〒163-0511 東京都新宿区西新宿1丁目26番6号
新宿野村ビル11F
- ウェブサイト <http://www.iri.co.jp/>
- 主要関連結子会社 株式会社IRIコミュニケーションズ
株式会社ブロードバンドタワー
株式会社IRIユビテック (大証ヘラクレス上場)
株式会社アイ・アール・アイ コマースアンドテクノロジー
ファイバーテック株式会社
株式会社プロデュース・オン・デマンド

4-2.連結業績概要：インターネット総合研究所(連結)

売上高



経常利益





【Everything on IP! & IP on Everything !】

20世紀の半導体技術のように、21世紀の産業創出のもととなる技術革新はIP (Internet Protocol) 技術である

IRIは、産業革命の担い手として

あらゆる情報、文化、社会活動をIPネットワーク上に実現していく企業です！

4-4.グループ事業展開

